2016年4月

滋賀県内企業動向調査 特別アンケート ~ 設備投資動向について~

2016 年度の設備投資は若干増加の見通し

【調査趣旨】

当社では県内の景気動向を多面的に捉えるため、重要な指標となる「設備投資動向」について、2015年度より年に一度アンケート調査を実施している。今年度も「滋賀県内企業動向調査(2016年1-3月期)」の特別項目として調査を行った。

【調査概要】

・調 査 名:「滋賀県内企業動向調査(特別アンケート)」

調査時期:2016年2月8日~26日調査方法:郵送による配布、回収

・調査対象先:滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 935 社・有効回答数:153 社(有効回答率 16%) うち製造業 73 社、非製造業 80 社

【調査結果の要旨】

1. 設備投資額は若干増加の見通し(表1)

・15 年度、16 年度の設備投資額について、金額の回答があった 153 社の合計額について みてみると、15 年度の着地見込みは 133 億 8,700 万円となった。16 年度の計画は 134 億 8,200 万円(15 年度対比+0.7%)と、若干増加する見通しとなった。

2. 中小・零細企業で下落幅が大きくなる傾向(表2)

・「1 社当たりの投資額」を資本金別(5 区分)にみると、15 年度の着地見込みは 8,700 万円、16 年度の計画は 8,800 万円と、100 万円のプラス(+0.7%)若干増加となる見込み。企業規模が大きくなるにつれて投資額は上がる傾向にあり、資本金が「5,000 万円超」から全体を上回る投資額となった。15 年度は「1 億円超~3 億円以下」「3 億円超」では1 社当たりの投資額が 2 億円を超える結果となった。

3. 増額理由は「老朽化・更新期の到来」が7割を占める(図1)

・16 年度の設備投資を前年度から「増額する」と回答した企業に理由をたずねたところ、「既存設備の老朽化、更新期の到来」が最多の 71.5%となり 7 割を超える結果となった。 次いで、「生産性向上への対応」(48.2%)、「新規事業対応・新製品開発」(23.4%)、「省エネ・環境対応」(20.4%)が続いた。

4. 減額理由は「投資の一巡、前年度の投資額の影響」が5割を占める(図2)

・16年度の設備投資を前年度から「減額する」と回答した企業に理由をたずねたところ、「投資の一巡、前年度の投資増の影響」が51.8%と5割に達した。

5.「自己資金」による手堅い投資志向が増加(図3)

・設備投資にかかる資金調達方法についてたずねたところ、「自己資金」が7割弱と大勢を 占め、製造業では7割を超えた。全体の15年度の自己資金投入割合は66.5%、16年度 は68.2%と、さらに自己資金の割合が高まる見込みである。非製造業では借入金の割合 が約3割となった。

6.「補助金制度の拡大」が最多

・設備投資に関して期待する施策についてたずねたところ、「補助金制度の拡大」が 61.2% と、6割を超えた。次いで、「設備投資減税の拡大」(49.3%)、「法人税率の引き下げ」 (44.9%) が続いた。

以上

本調査に関するお問い合わせ先: ㈱しがぎん経済文化センター

産業・市場調査部 長山 (077-523-2245)



1. 若干増加の見通し。製造業は増加し、非製造業は減少

15 年度、16 年度の設備投資額について、金額の回答があった 153 社の合計額についてみてみると、15 年度の着地見込みは 133 億 8,700 万円となった。16 年度の計画は 134 億 8,200 万円 (15 年度対比+0.7%) と、若干増加する見通しとなった。

業種別では、製造業の 15 年度の投資額は 78 億 3,600 万円、16 年度の計画は 85 億 3,100 万円 (+8.9%) となり、全体に比べ大きく増加する見込みとなった。窯業・土石 (+116.7%)、繊維 (+60.6%) 等で大幅なプラスになる一方、非鉄金属 (-60.3)、金属製品 (-41.7) 等で大幅なマイナスが見込まれている。

非製造業は、15 年度が 55 億 5, 100 万円、16 年度の計画は 49 億 5, 100 万円(-10.8%)と、 1 割を超える減少幅となる見込みである。建設(+73.6%)で大幅なプラスになったものの、運輸・通信(-48.3%)、卸売(-46.5%)等でのマイナスが全体を押し下げた。

表1 設備投資動向 (単位:百万円、%)

業種※1		回答社数	15年度 見込	16年度 計画	増減額	増減率
全体		153	13,387	13,482	95	0.7
製	造業	73	7,836	8,531	694	8.9
	繊維	11	884	1,420	536	60.6
	木材·木製品	4	32	42	10	31.0
	化学	7	269	368	99	36.8
	窯業•土石	4	675	1,463	788	116.7
	非鉄金属	4	1,277	507	-770	-60.3
	食料品	4	95	122	27	28.2
	金属製品	5	471	275	-197	-41.7
	一般機械	10	1,333	1,017	-317	-23.7
	輸送用機械	7	1,810	2,501	691	38.2
	その他製造	17	989	817	-173	-17.5
非	製造業	80	5,551	4,951	-600	-10.8
	建設	20	873	1,515	642	73.6
	不動産	4	68	59	-9	-12.7
	卸売	14	1,515	811	-704	-46.5
	小売	9	681	779	98	14.4
	運輸·通信	12	490	253	-236	-48.3
	サービス	18	1,866	1,464	-401	-21.5
	その他非製造	3	60	70	10	16.8

^(※1)回答数が3社以下の6業種(製造業:紙・パルプ、鉄鋼、電気機械、非製造業:電気・ガス) については、その他の製造業・非製造業にまとめた。



^(※2)合計は円単位で計算後、百万円未満を四捨五入して表示しているため、表内の計算に おいて一致しない場合がある。

2. 中小・零細企業で下落幅が大きくなる傾向

「1社当たりの投資額」を資本金別 (5区分) にみると、15年度の着地見込みは 8,700万円、16年度の計画は 8,800万円と、100万円のプラス(+0.7%)で若干増加となる見込み。企業規模が大きくなるにつれて投資額は上がる傾向にあり、資本金が「5,000万円超」から全体平均を上回る投資額となった。15年度は「1億円超~3億円以下」「3億円超」では1社当たりの投資額が2億円を超える結果となった。

増減率をみると、「1億円超~3億円以下」「3億円超」では増加する見込みで、「3億円超」では6割近い増加幅となった。一方、「1,000万円以下、個人」「1,000万円超~5,000万円以下」では2割近い減少幅となる見込みである。資本金規模が小さいほど下落幅が大きくなる傾向があり、中小・零細企業の慎重な投資スタンスがみてとれる結果となった。

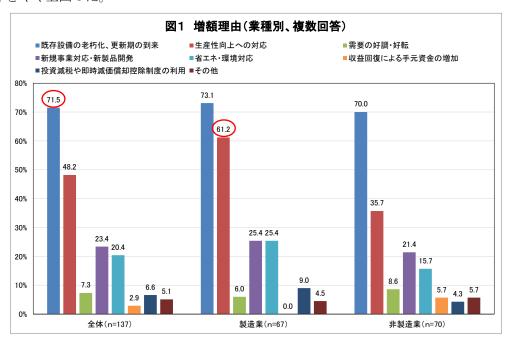
				\ -	
資本金区分	回答社数	15年度 見込	16年度 計画	増減額	増減率
全体	153	87	88	1	0.7
1,000万円以下、個人	30	24	19	-4	★ −18.4
1,000万円超~5,000万円以下	77	63	52	-11	-17.9
5,000万円超~1億円以下	31	136	129	-7	-5.3
1億円超~3億円以下	7	269	315	45	16.7
3億円超	8	214	339	125	58.4

表2 1社当たりの投資額 (単位:百万円、%)

3. 増額理由は「老朽化・更新期の到来」が7割を占める

16 年度の設備投資を前年度から「増額する」と回答した企業に理由をたずねたところ、「既存設備の老朽化、更新期の到来」が最多の 71.5%となり 7 割を超える結果となった。次いで、「生産性向上への対応」(48.2%)、「新規事業対応・新製品開発」(23.4%)、「省エネ・環境対応」(20.4%)が続いた。

業種別の特徴をみると、製造業では「生産性向上への対応」が 61.2%と全体平均を大きく上回った。前年調査時(15年2月)の 48.2%から 10ポイント以上の増加である。逆に「需要の好調・好転」(7.3%) は前年の 29.6%から 20ポイント以上減少した。非製造業は主な項目で全体平均を下回っており、「需要の好調・好転」(8.6%)、「収益回復による手元資金の増加」(5.7%)が全体をやや上回った。





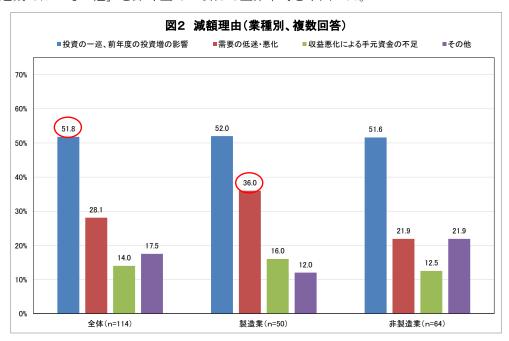
(株)しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 4階 http://www.keibun.co.jp/

^(※1)合計は円単位で計算後、百万円未満を四捨五入して表示しているため、表内の計算に おいて一致しない場合がある。

4. 減額理由は「投資の一巡、前年度の投資額の影響」が5割を占める

16年度の設備投資を前年度から「減額する」と回答した企業に理由をたずねたところ、「投資の一巡、前年度の投資増の影響」が51.8%と5割に達した。次いで「需要の低迷・悪化」(28.1%)、「その他」(17.5%)、「収益悪化による手元資金の不足」(14.0%)と続いた。

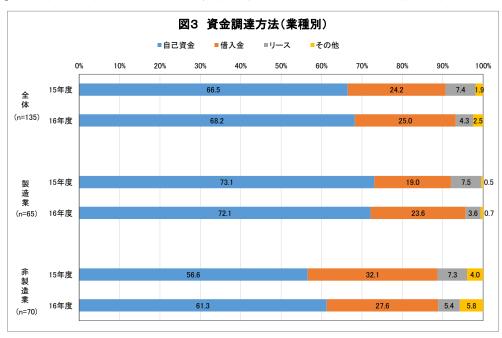
業種別にみると、製造業では「需要の低迷・悪化」(36.0%)が全体平均(28.1%)を上回り、 非製造業では「その他」を除く全ての項目で全体平均を下回った。



5.「自己資金」による手堅い投資志向が増加

設備投資にかかる資金調達方法についてたずねたところ、全体では「自己資金」が7割弱と大勢を占めた。15 年度の 66.5%から 16 年度は 68.2%と、さらに自己資金の割合が高まる見込みである。

製造業では 15 年度、16 年度ともに「自己資金」が 7 割を超えた。「借入金」(15 年度: 19.0%、16 年度: 23.6%) の 16 年度割合が+4.6 ポイントとやや増加する見通し。非製造業では「借入金」の割合が約 3 割に上ったものの、対 15 年度では-4.5 ポイントと減少の見通しである。



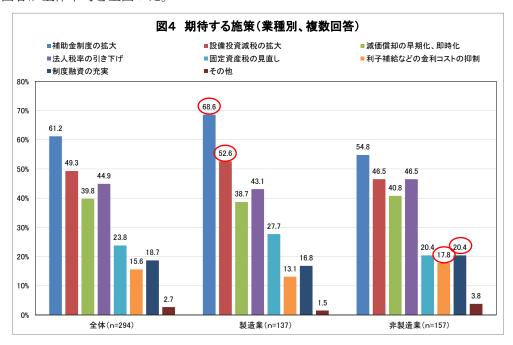


6.「補助金制度の拡大」が最多

設備投資に関して期待する施策についてたずねたところ、「補助金制度の拡大」が 61.2%と、6割を超えた。次いで、「設備投資減税の拡大」(49.3%)、「法人税率の引き下げ」(44.9%) が続いた。

業種別に特徴をみると、製造業では「補助金制度の拡大」(68.6%)が7割近くに上り、また、「設備投資減税の拡大」(52.6%)が5割を超えた。

一方、非製造業では「補助金制度の拡大」(54.8%) が製造業と 10 ポイント以上の差が開いた。 「制度融資の充実」(20.4%)、「利子補給などの金利コストの抑制」(17.8%) 等の金融面を意識 した回答が全体平均を上回った。



7. 設備投資に関する自由回答

に、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 建設 ジフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。	大業種	中業種	記載内容				
世来・土石 製備を朽化による買い替え時期が到来。必然性のあるもの以外はなるべく投資は行わない。 主産設備の維持、改良、改善を続ける。 素要動向と無限品の立ち上がりを見ながら随時対応。 素理動向と無限品の立ち上がりを見ながら随時対応。 素理動向と無限品の立ち上がりを見ながら随時対応。 素別的資産の投資に立たため、同業性に後れを取っていた。早急に取り戻す必要があるので、状況にもよるが毎年投資を行っていて予定。 場度に対しては、効率化を中心に対応するため、投資は更新をメインに進める(ただし、小手先の棒結ではなく、大幅な改造・改造、新規入計)。 数価を材化等の対策は必要に応じて行う。新規事業に関連する場合も投資は行う。 必要最小限の投資にとどめる。外注可能なものはか注で。 業況が負くなく、必要最低限の設備更新をしばらくは続ける予定。 2016年は補助金動便の活用を予としている。 適正最小の設備を授えけ、宣の範囲で行いつつ経営の安定化を計る。また、土地・建物等は万円・も転用が全く方に心掛ける。 をお設備のタイムリーな更新、労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に件い設備投資はも後も必要と考えている。 設備投資のための借入金銭を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。土地・建物を取得するような大型投資は当面考まていない。 当社が規模では大きすざる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「基もいの産業」に変わるための設備投資となるが、地域の特性を活かしたエネルギーへのシントや最もしき具体的に表現し発信でき他点づびり、大型の設備投資となるが、クラの支援を担係していく、人が登場を指すりない。 ソフ・ウェアの負担が多くなってきている。保登税制のアRと利用の仕方を知る機会を得たい、大場の機能の影が後にないできている。企業刑事額、事務機器の更新が主にリース利用、現状、会社の業別は変わらないが、建物がを行化したためた、効率化を計るうえで必要と判断につきて業美し、更多を生きないが、建物がを行化したためた、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 対策につき従業員、直接型を要とメティル等で表も導入している、長期的視点で投資する必要がり、通信でいた実施していてはまだまに不手分なため、長期的視点で投資する必要がり、通信の部へ再発したのとないがありまりましていた。 連絡・通信 自己ではまたまによったも分別、自己資金でまたり提入の事へ、新規率率への投資。 かり、自己資金でまたが関立の事業が表していてはまだまに不一分なため、長期的視点で投資する必要がも対したが必要についてはまままによったが必要があり、自己資金でまたが、対域に必要があり、自己資金でまたが、対域であり、表別が必要があり、自己資金でまたが、と思いが必要があり、自己資金でまたが、と思いがないができながあり、と思いがないので表があり、自己対域であり、自己ではませないがないので表がありませないがないので表がありませないので表がありませないがありませないので表がありませないのでありませないので表がありませないので表がありませないのでありませないので表がありませないのでありないのでありませないのでありませないのでありま		木材·木製品	環境に合わせて投資したい。				
設備を行いによる良い管人は明熱が到来、必然性のあらもの以外はなるべく投資は行わない。 事業・土石 需要動向と新選品の立ち上がりを見ながら随時対応。 果明間投資を抑えてきたため、同業性社に後れを取っていた。早急に取り戻す必要があるので、状況にもよるが毎年投資を行っていく予定。 非数を属 一般機械 先の修繕ではなく、大幅な改善、改造、新規入替。 競励を打化手の対策は必要に応して行う。新規事業に関連する場合も投資は行う。 参数人間の投資になく、大幅な改善、改造、新規入替。 素別が良なな、必要最低限の設備更新をしたらく持たで、完定が良なな、必要最低限の設備更新をしたらくは続ける予定。 2016年は精助金制度の活用を予定している。 適正最小の設備を投入されている時であるのは外はで。 素況が良なな、必要最低限の設備としている。 適正最小の設備を対したの表別にあります。 また、土地・建物等はカーにも結前が含くように心動ける。 その他の製造 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備的労のための借入金銭を見ながらの投資、高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備と答えたい。 当社所有の不動産(学工業地域)に質質工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社所有の不動産(学工業地域)に質質工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案すが当場らしの産業に受わるための設備投資と考えている。地域の特性を活か、大型の設備投資はようなうなの場合投資と表しいた。大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い、将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。低温税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい、大関の機会を対したのでの場件が見かれる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にて所有なに、営工用車輌、手務機器の更新が大に対している。 対関的に修理が使えすると思われる機械の更新、長期的化事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にて所有なし、営業が成る更に応じて実施していく、決定、対策につきな違負、協感の更新、長期の抗していて、対策を定していまた。 対策につきな違負、協感の更新、 、対域についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要が明確に対策としている業を設置としていてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要が明点で対域を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2026年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーションの機の充実、が関係を登りしたいらいろが知りましていない。 本語・通路の関係、建立なえる競技であるまで今後も取りれている。 表表観報が表していてはまだまだす十分なため、長期的視点で投資する必要を表しないが、建物がを行いしたため、規制事業を支えていない、対策に対すないが、と関係していてはませないが、と関係していてはませないが、と関係していてはませないが、と関係していているが、と関係していていました。 本語の表は、ませないないでは、表述の対域を対すないないでは、表述を表がたいいでは、表述の対域を表述を表がない、対域を表述を表述を表がない、対域を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を		化学	何らかの補助金制度を利用して、既存設備の更新を行いたい。				
需素・エ右			設備老朽化による買い替え時期が到来。必然性のあるもの以外はなるべく投資は行わない。				
需要動同と新製品の立ち上がりを見なから随時対応。 非鉄金属 金属製品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		窯業∙土石					
で、検別にもよるが毎年投資を行っていく予定。							
関連家という。 対象性を中心に対応するため、投資は更新をメインに進める(ただし、小手 先の機械 というのでいる。 改造、新規入替)。			で、状況にもよるが毎年投資を行っていく予定。				
製造業		金属製品					
酸機老和化等の対策は必要に応じて行う。動機學素に関連する場合も投資は行う。 必要表小服の投資にとどめる、外注可能なものは外注で。 安養小服の投資にとどめる、外注可能なものは外注で。 空間をは補助金制度の活用を予定している。 適正最小の設備投資は力量の参加で行いつつ経営の安定化を計る。また、土地・建物等は 万一にも転用がきくように心掛ける。 老村設備のタイムリーな更新、労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備を整えたい。 当社の再像では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。得来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 工場設備のを朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく、新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にで所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。人材育成と設備投資を雇业要課題として、今後も取り組んでいく。設備更新時間で再投資、効率化、新規事業への投資。当社は中心企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり、自己資金でまかなえる範囲で投資する。。 東小社会機、施設の更新、補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画で第分、に基づき、回復期リハビリテーシュの機能の発来しているの機能が対したを推進する。 診療機能の関係、患者数の関係、第名次)に基づき、回復期リハビリテーシュン病棟の充実への機能分数化を推進する。 診療機能の関係、患者数の関係、第名次には、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき	製冶業	輸送用機械	先の修繕ではなく、大幅な改善、改造、新規入替)。				
### 第25年機械 第2016年は補助金制度の活用を予定している。 ②1016年は補助金制度の活用を予定している。 適正最小の設備投資は力量の範囲で行いつつ経営の安定化を計る。また、土地・建物等は 万一にも転用がきくように心掛ける。 老朽設備のタイムリーな更新、労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るため に、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「藩もの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく、。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく、新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化たためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と限備投資を量量要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新成と関備投資を量量要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新成と関係投資を表置要課題とで、今後も取り組んでいく。 設施更新がよればなる名範囲で投資する。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだオー分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだオー分なため、長期的視点で投資する必要あり、自己資金でまかなえる範囲で投資する。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだが、今後も導入していく方針。車の購入は注文に「日近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 それた設備、施設の更新、 車の購入は注文に「日近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 それた設備、施設の更新、 を取り、近にでは、といのでなかなかタイミングがつかめない。 それた政権、施設の更新、 を取り、近にでは、といのでなかなかりでは、といの機能を中心とした(投資効果が期待できるの機能を投資が表しているがよりませないまた。 といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といのでは、といのでは、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といのでは、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といのでは、またが、といのでは、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、またが、といのでは、といいのでは、またが、といのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいのでは、またが、といいいのでは、またが、といいいいい、といいいいいでは、といいいいいい、といいいいいいい、	双 /						
2016年は補助金制度の活用を予定している。 適正最小の設備投資は力量の範囲で行いつつ経営の安定化を計る。また、土地・建物等は 万一にも転用がそくぶうにの掛ける。 老朽設備のタイムリーな更新。労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械者かりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 、工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし、営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと斬損店の拡版を目指す。 人材育成と股備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 機運新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要かり。自己資金でおなえる金融田で投資する。 しい出店物件があれば出店する。 今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して「中値くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新、補助金制度について、一方の設明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病様の充実への機能の発展、患数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき							
適正最小の設備投資は力量の範囲で行いつつ経営の安定化を計る。また、土地・建物等は フーにも転用がさくように心掛ける。 老朽設備のタイムリーな更新、労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るため に、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(単工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を接乗する「着らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく、。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく、。 「場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく、新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資、建設用機械等は自社にて所有なし、営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 卸売 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 今回10トントラックを購入。効率化をはおる意味で今後も導入してい方針。 車の購入は注文して生近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新、補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病様の充実への機能の機能を発産と利用して設備を投資した。いろいる利用できるのが出てきたも利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病様の充実への機能器を用してとした(投資効果が期待でき							
表の他の製造 老朽設備のタイムリーな更新。労働負荷低減や生産性向上への投資。 開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資に今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「着らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや毒らと是具体的に表現し発できる拠点が、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から上にエネルギーへのシフトや毒らと是具体的に表現し発できる拠点が、サフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。太陽光発電ンステムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。「工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にて所有なし、営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。現状、会社の業況は変わらないが、建物がを朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、庫帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡阪を目指す。人材育成足設備投資を量重要課題として、今後も取り組んでいく。投稿更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資・ ・ 力料育成定設備機力資金で表かなより、企業で、受しいとないの表が表がまかすくまり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要があり、通信を開発であまり実施されていない。 本朽化設備、施設の更新。補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 本朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 本朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 本朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 本朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。							
開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金殊を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「幕らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや奉らしを具体的に表現の発信できる拠点づくり、大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 ・ 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡阪を目指す。人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。設備更新時期で再投資、効率化、財規事案への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。良い出店物件があれば出店する。 東の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新・補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたも利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病様の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			万一にも転用がきくように心掛ける。				
開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。 設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るため に、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・連物を取得するような大型投資は当面表していない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを異体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。が、理報的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社に下所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。設備重新時期で再投資、効率化、が、規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだボー分なため、長期的視点で投資する必要かり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。良い出店物件があれば出店する。 東い田店物件があれば出店する。 東に出居物件があれば出店する。自りに対するとまりにないなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 対率化をはかる意味で今後も導入していく方針。車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新、効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 対率化をはいる意味で今後も導入していく方針。 中の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 第1年においる意味で今後も導入していく方針。 中の購入は注文して1年近後前に第1年により記述は対したいないのでまかままないまたまでする。 は、2025年問題が実と利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。			老朽設備のタイムリーな更新。労働負荷低減や生産性向上への投資。				
に、機械まわりの設備を整えたい。 当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。 土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく、 「工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡版を目指す。 人材育成と設備投資を量重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要 あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 今回1のトントラックを購入、効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したに、 このと様器を中心とした(投資効果が期待でき)を報報を対しての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病様の充実への機能分数化を推進する。 診察報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			開発業務の製造を行っているため、技術進歩に伴い設備投資は今後も必要と考えている。				
土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。 当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づらり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 良い出店物件があれば出店する。			設備投資のための借入金残を見ながらの投資。高額設備の投資でなく、生産効率を図るために、機械まわりの設備を整えたい。				
当社の規模では大きすぎる設備投資となるが、地域工務店が家を建てる「箱の産業」から住まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 「場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。良い出店物件があれば出店する。 今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新、補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき		建設	当社所有の不動産(準工業地域)に賃貸工場、倉庫等の建設により、収益事業と考えている。				
まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活かしたエネルギーへのシフトや暮らしを具体的に表現し発信できる拠点づくり。 大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件の物件が見つからない。 ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 「場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 今回10トントラックを購入、効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハピリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			土地・建物を取得するような大型投資は当面考えていない。				
			まい方を提案する「暮らしの産業」に変わるための設備投資と考えている。地域の特性を活か				
プフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。 太陽光発電システムの買い取り価格や年数が平成27年度と同条件ならば投資を継続していく。 工場設備の老朽化及び生産性向上の為の投資は必要に応じて実施していく。新規事業への投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。設備更新的期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。良い出店物件があれば出店する。今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。老朽化設備、施設の更新。補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			大型の設備投資はあまりなく、道工具類の更新が多い。将来工場の移転をしたいが良い条件 の物件が見つからない。				
大会性の表別には、			ソフトウェアの負担が多くなってきている。優遇税制のPRと利用の仕方を知る機会を得たい。				
投資については有望市場を見いだせない状況にある。 短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。 建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 令回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき							
建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 「運輸・通信 今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき							
理輸・通信 現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 有回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			短期的に修理が増大すると思われる機械の更新。長期的に事業を支える設備への投資。				
田売 時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。 人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			建設用機械等は自社にて所有なし。営業用車輌、事務機器の更新が主にリース利用。				
人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。 設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要 あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。	非製造業		現状、会社の業況は変わらないが、建物が老朽化したためと、効率化を計るうえで必要と判断して決定。				
設備更新時期で再投資、効率化、新規事業への投資。 当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。 「運輸・通信			時短につき従業員、直帰型営業システム等で業績アップと新規店の拡販を目指す。				
当社は中小企業であり、設備についてはまだまだ不十分なため、長期的視点で投資する必要 あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。			人材育成と設備投資を最重要課題として、今後も取り組んでいく。				
小売 あり。自己資金でまかなえる範囲で投資する。 良い出店物件があれば出店する。							
理輸・通信 今回10トントラックを購入。効率化をはかる意味で今後も導入していく方針。 車の購入は注文して1年近くかかるのでなかなかタイミングがつかめない。 老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき		小売					
連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							
老朽化設備、施設の更新。 補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき		運輸∙通信					
補助金制度についてメーカーからの説明等があまり実施されていない。 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき		サービス	1 MILY 110-12-17-2 110 11 12-110 110 110 110 110 110 110 110 110 110				
サービス 石油組合の助成制度を利用して設備を投資した。いろいろ利用できるのが出てきたら利用したい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき							
サービス たい。 2025年問題対策としての医療計画(第6次)に基づき、回復期リハビリテーション病棟の充実への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき							
への機能分散化を推進する。 診療報酬の増額、患者数の増大のためには、医療機器を中心とした(投資効果が期待でき			たい。				
•							

以上



(株)しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部